

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 6 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課	石渡 千賀子
健福-53	各種スポーツ行事事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	スポーツ課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	身近なところで、自主的に、気軽に楽しむことができるスポーツの振興を図るとともに、指導者の養成と資質向上を図るため
効果	市民のスポーツ・レクリエーションの推進やスポーツ・レクリエーション活動の支援を図る

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、市民向けのスポーツ行事を開催し、地域に根ざすスポーツの促進を図った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策関連として、オンライン双方向運動プログラム事業を行った。
- ・アスリートを目指す志を持つジュニア世代の育成を図るため、強化練習会等を行った。
- ・令和4年度に開催される全国健康福祉祭(愛称:ねんりんピック)開催に向けた準備を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	スポーツ行事開催事業	各種スポーツ事業委託(委託料)	参加人数(人)	11,404 / 60,000	60,000	60,000	19.1%
				8,560 / 9,168	10,401		
02	オリンピック・パラリンピック機運熟成事業	強化指定選手奨励金(奨励金)	奨励人数(人)	0 / 6	0	0	0.0%
				0 / 2,400	0		
03	ジュニアアスリート育成事業	トップアスリートとの交流事業(参加人数)	参加人数(人)	306 / 300	300	300	102.0%
				745 / 1,364	1,364		
04	ねんりんピック事業	実行委員会開催(会議負担金)	参加人数(人)	— / —	—	—	/
				159 / 990	4,463		
05	一般事務経費	消耗品	—	— / —	—	—	/
				28 / 35	102		
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
			財源内訳				
			国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	2,169 / 2,169			
			一般財源	7,323 / 11,788	16,330		
			事業費の合計(千円)	9,492 / 13,957	16,330		
			人件費(千円)		12,031	12,179	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.5	1.5	1.5			
会計年度任用職員	0.5	0.5	0.5			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	スポーツ行事開催事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、各種行事が中止したため。	地域でスポーツ活動に気軽に参加することで、市民のスポーツ実施率の向上につながる。	新型コロナウイルス感染予防として、過密にならずにスポーツ行事や運動会をどのように行うか検討が必要。
02	オリンピック・パラリンピック機運成熟事業	JOCの認定を受けた強化指定選手がいなかったため。	鎌倉ゆかりの東京オリンピック・パラリンピック強化指定選手に対し奨励金を交付することで、本市のスポーツ振興につながる	トップアスリートが競技を継続していくには多くの経費を必要とすることから、東京オリンピック・パラリンピック以後について制度の検討が必要である
03	ジュニアアスリート育成事業	新型コロナウイルス感染拡大により、多くの教室等を中止したため。	幼少期から競技スポーツに親しむことや、鎌倉ゆかりのトップアスリートと交流することで、アスリートとしてのきっかけ作りや競技力向上に寄与した。	新型コロナウイルス感染症が収束していない中、国の指針等に基づきながら、どのようにしてジュニアアスリートを育成していくかの検討が必要。
04	ねんりんピック事業	ねんりんピック開催のための準備等を行うもので、指標等には適さない。	高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与した。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点の中で、国のガイドラインに基づき大会運営を行う必要がある。
05	一般事務経費	消耗品等共通的な経費で指標の設定に適さない。	—	—
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部的(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 ○-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 体育協会・レクリエーション協会・スポーツ推進委員連絡協議会・地区スポーツ振興会・マリンスポーツ連盟・湘南ベルマーレ・徳洲会体操クラブ

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら、市民のスポーツ実施率の向上や健康維持・増進を目的として、市民のニーズに対応した各種教室やイベントの更なる充実を図る。 ・身近なところで気軽にスポーツが実施できるよう地域スポーツの振興を図る。 ・東京オリンピック・パラリンピックの開催により高まった市民のスポーツへの興味を維持するとともに、ジュニア世代を対象に教室を開催し市民の競技力向上を図る。 ・障がい者スポーツに対する理解を深め、あらゆる市民がスポーツに親しめる環境を提供する。 					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	ジュニアアスリート育成事業参加人数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
幼少期から競技スポーツに親しむことで、アスリートとしてのきっかけ作りに寄与する	目標値	300.0	300.0					
	実績値	0.0	306.0					
	達成率	0.0%	102.0%					

指標(単位)	地区スポーツ振興会協議会スポーツ行事参加人数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
地区スポーツ・レクリエーション活動の活性化の状況を把握するため	目標値	60,000.0	60,000.0					
	実績値	759.0	11,404.0					
	達成率	1.2%	19.0%					

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	秦野市	小田原市	平塚市	逗子市	南足柄市
他市実績	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため、県内の大きな大会は開催することができなかった。今後、国のガイドライン等に基づき、開催について検討していく。
----------------------	---